

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女ともに、特に長座体前屈の大きく関節を動かす能力が優れている。
- 「ソフトボール投げ」「握力」は、男女とも全国平均に達しており、投げる力や筋力に関する能力が優れている。
- 男女とも、筋力を持続的に発揮する「上体起こし」等の運動に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・体の動かし方を動画で提示し、学習の見通しをもつ時間の設定
- ・学習プリントを活用した、個別のめあての設定とふりかえり活動の設定
- ・体育委員会が企画・運営した外で遊ぶ意欲を高める活動の設定
- ・運動への意欲を高めるスポコン広場の活用

②改善を図る点

- ・体を動かす楽しさを味わうことができる、筋力を高めるための運動の充実
- ・体育科の授業で、単元の内容に関わる、短時間で取り組める運動及び、体力を高める運動の継続実施
- ・ICTを活用した自分自身の運動を見つめなおす対話活動の充実
- ・各学年におけるスポコン広場を活用した取組の充実

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・体力の向上を実感でき、運動への意欲を高めるための、各学年で課題となる種目に継続的に取り組む体力アップ週間を設定する。
- ・毎日の朝食摂取率を向上できるようにするため、PTAと連携して家庭への啓発を行う。